



新型コロナウイルス感染症の影響でコンサート等の開催ができない中、創立 20 周年を迎え「小牧に元気を」と活動再開を模索する中部フィルハーモニー交響楽団を特集しました。記事中の写真は、昨年以前に撮影されたものが中心となります。

特集

まちに寄り添うオーケストラ

～中部フィルハーモニー交響楽団 20 周年記念～



▲市民病院クリスマスコンサート

小牧市を拠点とし、中部地方の各地で活躍するプロオーケストラ、中部フィルハーモニー交響楽団（以下「中部フィル」）。平成 12 年に小牧市交響楽団として創立され、今年 2 月に 20 周年を迎えました。

「交響楽団」というと少し敷居が高いように感じますが、実は市民の身近に寄り添う地域密着型のオーケストラなんです。

「地域に根ざし、地域を超えたトップクラスのオーケストラ」という夢の実現に向けて、更なる飛躍を目指す中部フィル。その活動に込められた思いを、楽団員へのインタビューを交えながら紹介します。

問合先 中部フィルハーモニー交響楽団 (☎ 43 - 4333)
ホームページ : <https://chubu-phil.com/>



中部地方を音楽で元気に

中部フィルは、平成12年に小牧市交響楽団として発足。平成19年に「中部フィルハーモニー交響楽団」と改名し、以降は愛知・岐阜・三重を中心に地域で愛されるプロオーケストラとして活躍しています。

その活動理念は、中部圏の音楽文化の振興。ポップス歌手や大河ドラマ作曲家を招いたコンサートなど、個性的なプログラムにより各地で定



▲市民会館での定期演奏会

期的な公演を行っています。その功績により、平成29年には県知事から感謝状が授与されています。

現在の芸術監督・首席指揮者は、秋山和慶（あきやまかずよし）氏。日本を代表する指揮者の一人で、紫綬褒章、旭日小綬章を受賞し、文化功労者にも選出されている実力者です。創立15周年を記念して秋山氏の指揮により演奏されたマラー「復活」は、大成功を収めました。

地域密着型オーケストラとして

中部フィルの活動は、各地の公演会にとどまりません。市内の小学校



▲「こまぶんフェスタ」での演奏

を訪問して演奏を披露することも、主な活動の一つ。普段オーケストラになじみのない子どもたちにとって、プロの演奏を鑑賞する貴重な機会となっています。このほか、「まちかどコンサート」や市民病院でのクリスマスコンサートなど、本拠地の市民会館以外にもさまざまな場所出張演奏会を開催。各種イベントにステージゲストとして出演することも多く、ホールから飛び出した地域密着型の活動を精力的に展開しています。



▲まちかどコンサート（ラピオ）の様子



▲市内の中学生を招待しての演奏会

「こまき」に根ざした活動

中部フィルの演奏会には、大きく分けて「定期演奏会」と「特別演奏会」があります。年5回の定期演奏会のうち2回は、KOMAKIシリーズとして市民会館で開催されています。

ほかにも、市民会館では特別演奏会「こまき第九」を主催。市民へクラシック音楽の魅力と素晴らしさを広め、小牧市がより音楽の溢れる街になるようにと毎年12月に開催されており、一般から募集した総勢150人の合唱団が参加する壮大なコンサートになっています（今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からプログラム内容を変更して開催。来年度は開催予定）。

活躍の幅が各地に広がっても、地元を中心とした活動を続ける中部フィル。そこには、「市民の身近なところにオーケストラがいる」ということをもっと知ってもらいたいという思いがあります。15万人規模の地方都市に交響楽団があるというのは、日本では小牧市だけ。中部フィルの活躍は、実は全国からも注目されているんです。

▼「こまき第九 2019」の様子（指揮：大友直人、独唱：伊藤晴・牧野真由美・笛田博昭・牧野正人）



楽団員インタビュー

～ 生の声を聴いてきました ～

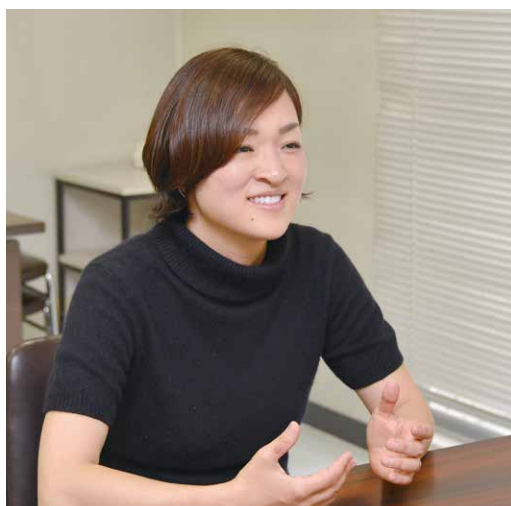
「好きなことを仕事に」
設立当初より中部フィルに所属している北野さんは、名古屋出身。10年前結婚を機にたまたま小牧に住むことになりました。「これも何かの縁」と、今の地元である小牧の人々にもっと愛されるオーケストラを目指し、日々活動しています。

クラリネットを始めた当時は13歳。中学の吹奏楽部に入るとき、一番うまく音を出せた楽器がクラリネットでした。その後、県立芸術大を卒業し、「とにかく本番で演奏したい」と思っていた北野さんは、小牧市交響楽団（現在の中部フィル）のオーディションを知り、迷わず応募したといいます。

「好きなことを仕事にできているのがあります」と話す北野さん。リアルタイムでお客様の反応が返ってくるのが、ステージで仕事をする醍醐味なのだそう。音楽の話をする表情は、とても楽しそうでした。



中部フィルハーモニー交響楽団
【クラリネット奏者】
きたの みゆき
北野 美幸さん（郷中在住）
普段の趣味：国内外への旅行



「寝てしまってもいいんです(笑)」
「オーケストラを先入観で遠ざけてしまっている人も多い。でも、テレビ番組などにもたくさん使われているし、本当はもっと身近にあるんです」と、北野さんは言います。貴族の間で始まったクラシック音楽も、今では誰でも楽しめるものに。『癒しの音楽』として聴いてもいいんだそうです。

「コンサートでは寝てしまってもいいんです。演奏者はあまり気にしていません。自分たちの演奏で心地よくなってもらえたということですから」と笑いながら話す北野さん。

「新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いたら、市民の皆さんには、ぜひ『気楽に』コンサートまで足を運んでももらいたいです」と、その思いを語りました。

動画配信事業

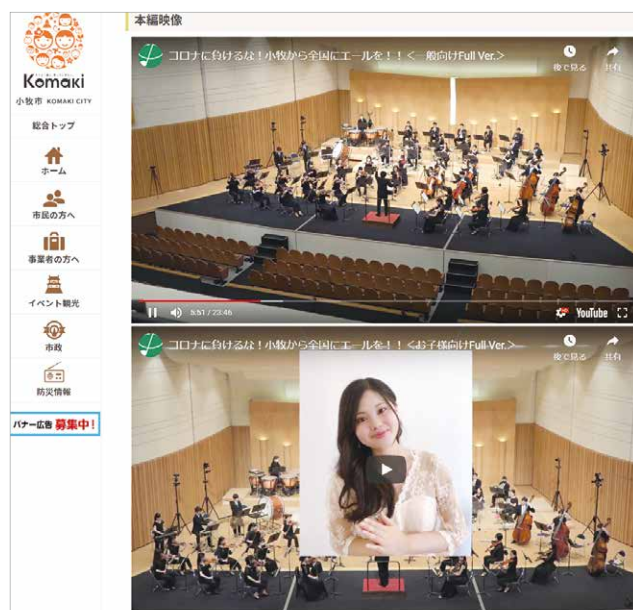
「コロナに負けるな！
小牧から全国にエールを！」

新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの人が不安や息苦しさを感じている中、音楽を通して何かできることを、との思いから、市・中部フィルハーモニー交響楽団・こまき市民文化財団の3者タッグにより実現したフルオーケストラ映像。

大人向けと子ども向け、2種類の映像が動画共有サービス「YouTube」上に用意されており、プロの演奏をインターネットを通じてどこでも楽しめます。



映像はこちらから▶



▲本格的なオーケストラの演奏を動画で

中部フィルハーモニー交響楽団 9月20日(日) 市民会館 第71回定期演奏会 KOMAKI シリーズ1 指揮／飯森 範親

曲目 チャイコフスキー

スラブ行進曲 作品 31

弦楽セレナード ハ長調 作品 48

交響曲第4番 ヘ短調 作品 36

料金 一般席 3,300円(全席指定)※当日券、学生席なし
アートフレンド割引料金 2,800円

チケット販売 中部フィルハーモニー交響楽団(市民会館内)
チケットぴあ(☎0570-02-9999、Pコード172-335)
市民会館、東部・味噌・北里の各市民センター、まなび創造館

問合せ先 中部フィルハーモニー交響楽団(☎43-4333)

※席配置の変更に伴いすべてのチケットを払い戻し、再販売となります。

※感染予防対策として、客席は前後左右を空けた席配置を行います。

※客席数を収容定員の50%以下となる枚数にてチケットを販売いたします。

生誕180周年を迎えたチャイコフスキーの人気交響曲3曲を、新たに首席客演指揮者に就任した飯森範親が中部フィル本拠地小牧でドラマティックに響かせます。



中部フィルハーモニー交響楽団 ご寄付のお願い

中部フィルは、令和2年2月に創立20周年を迎えました。

本来であれば、今年度は周年を記念し、定期演奏会・記念演奏会という形で、若い楽団の成長を皆さんにお披露目する予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、お客様・奏者・スタッフの安全を第一に考え、やむを得ず2月26日以降の全演奏会を中止・延期しております。

また、今後につきましても、密になりがちなオーケストラの演奏会をどのように開催するか、可能性を模索する状態となっております。

いつも中部フィルの演奏会に足をお運びくださ

る皆さんには、楽しみにお待ちしておりますところ誠に申し訳ございません。多くの方々から、ご心配や励ましのお言葉をいただき、大変ありがたく深く感謝しております。

早く感染拡大が収まり、罹患された方も回復し、心楽しく音楽を聴ける時が来るようお願いしつつ、それまでのあいだ当楽団に所属する41名の楽団員、9名の事務局員が今後もオーケストラ事業に携われるよう楽団を維持し、また演奏会の開催へ向けて歩みを進めるために、どうか中部フィルの苦境にご理解を賜りますとともに、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

NPO 法人 中部フィルハーモニー交響楽団

ご寄付の方法

① 下記口座へお振込をお願いします。

銀行名：三菱UFJ銀行

支店名：小牧支店

口座種類：普通預金

口座番号：1895612

口座名義：NPO 中部フィルハーモニー交響楽団

② ホームページにある問合せフォーム・電話・メール等で寄附者情報をご連絡ください。

☎ 43-4333

✉ info@chubu-phil.com

ご連絡いただきたい内容

氏名、住所、連絡先、寄附金額



問合せフォーム▶

③ 中部フィルから寄付金受領証明書をお送りします。

税制上の優遇措置について

中部フィルは認定NPO法人として認定を受けているため、寄附金に関して税制上の優遇措置が受けられます。また、当楽団へ相続財産によるご寄附をいただいた場合は、その寄附金が相続税の課税対象外になります。詳しくは、所轄税務署や国税庁のWebサイト等にてご確認ください。

